

# アセットバック証券オープン (毎月分配型) Cコース／Dコース

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第187期(決算日2017年10月5日) 第188期(決算日2017年11月6日) 第189期(決算日2017年12月5日)  
第190期(決算日2018年1月5日) 第191期(決算日2018年2月5日) 第192期(決算日2018年3月5日)

作成対象期間(2017年9月6日～2018年3月5日)

### <Cコース>

第192期末(2018年3月5日)	
基準価額	8,648円
純資産総額	452百万円
第187期～第192期	
騰落率	△3.5%
分配金(税込み)合計	60円

### <Dコース>

第192期末(2018年3月5日)	
基準価額	7,364円
純資産総額	823百万円
第187期～第192期	
騰落率	△6.3%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

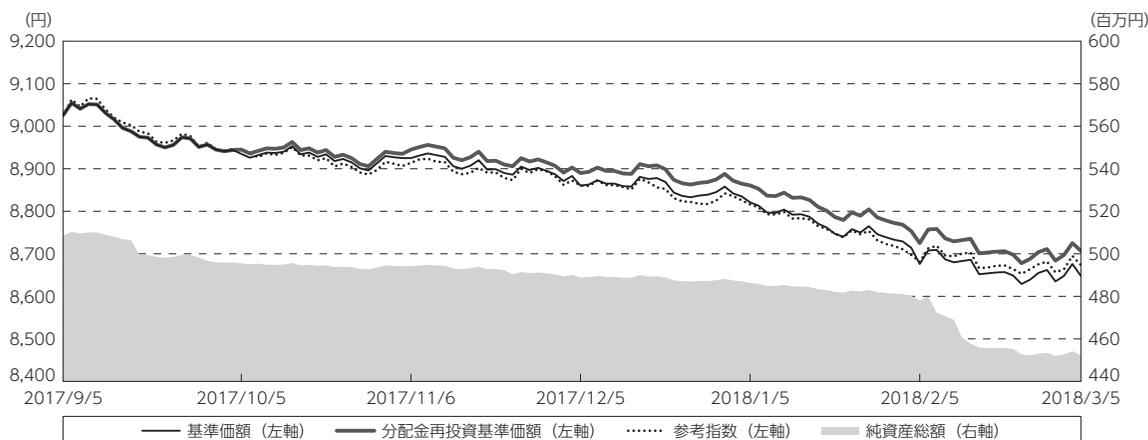
ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## &lt;Cコース&gt;

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2017年9月6日～2018年3月5日)



第187期首：9,026円

第192期末：8,648円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰落率：△3.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円ヘッジベース)です。詳細は3ページをご参照ください。参考指数は、作成期首(2017年9月5日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,026円から当作成期末には8,648円となりました。

- ・2018年1月に、2017年12月のコアCPI(消費者物価指数)伸び率が市場予想を上回るなど好調な経済指標が確認されたことや、税制改革によるインフレ期待から長期金利が上昇したことなどを背景にアセットバック証券が下落したこと
- ・2018年2月に、1月の米雇用統計が好調であったことを受け、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げが加速するとの観測が高まったことや、1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨が利上げを強調する内容だったことから債券利回りは上昇(価格は下落)し、アセットバック証券が下落したこと

1万口当たりの費用明細

(2017年9月6日～2018年3月5日)

項 目	第187期～第192期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 48	% 0.546	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(27)	(0.305)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(19)	(0.214)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	( 2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	3	0.029	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	51	0.575	
作成期間の平均基準価額は、8,830円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

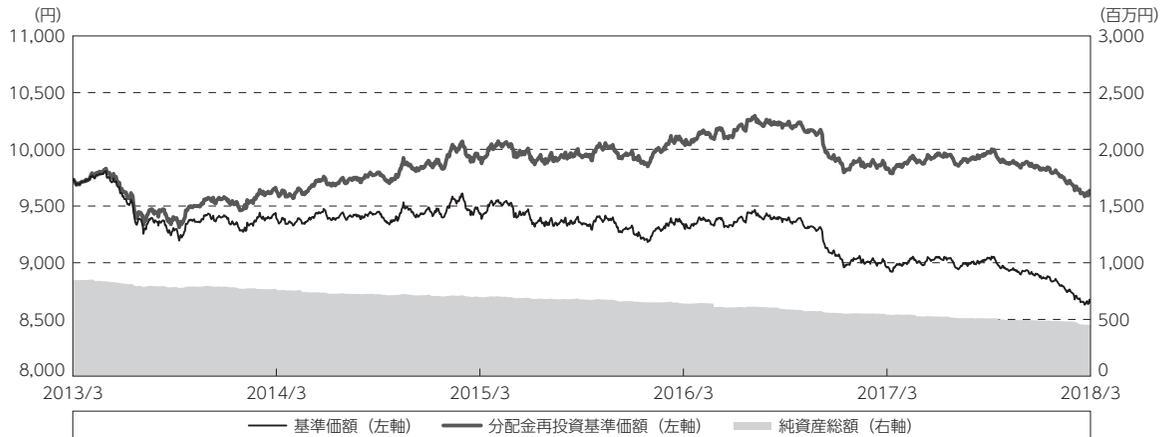
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年3月5日～2018年3月5日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2013年3月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年3月5日 決算日	2014年3月5日 決算日	2015年3月5日 決算日	2016年3月7日 決算日	2017年3月6日 決算日	2018年3月5日 決算日
基準価額 (円)	9,730	9,391	9,429	9,308	8,957	8,648
期間分配金合計(税込み) (円)	—	240	240	240	150	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 1.0	3.0	1.3	△ 2.2	△ 2.1
参考指数騰落率 (%)	—	△ 1.3	1.6	2.2	△ 3.1	△ 2.4
純資産総額 (百万円)	850	766	697	638	541	452

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\*参考指数 (= ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス<sup>®</sup> (円ヘッジベース)) は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス (現地通貨ベース) をもとに、当社において円ヘッジおよび円換算したものです。

※名称変更しております (旧名称はBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス)。

(出所および許可) ICE Data Indices, LLC. (出所) ブルームバーグ

**投資環境**

(2017年9月6日～2018年3月5日)

米国債券市場は、当作成期間では、利回りは上昇（価格は下落）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、トランプ政権による税制改革の動向などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、下落傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向などに左右されました。

為替市場は、当作成期間では、ドルに対して円高が進行しました。2017年9月にFOMCでの資産縮小開始の決定や、トランプ政権が税制改革案を発表し、米国経済の成長に対する期待感が高まったことを受けて、ドルは上昇しましたが、2018年1月以降、日銀が超長期国債の買い入れを減額したことを受けて、市場で金融政策の正常化が意識されたことや、2月の下旬、米国株式市場が急落したことなどからリスク回避の動きにより円が買われ、円高が進みました。当作成期間では、ドル安・円高となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2017年9月6日～2018年3月5日)

**[アセットバック証券オープンコース]**

主要投資対象である [アセットバック証券オープンマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクを低減させました。

**[アセットバック証券オープンマザーファンド]**

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。  
上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。
  - ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
  - ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
  - ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

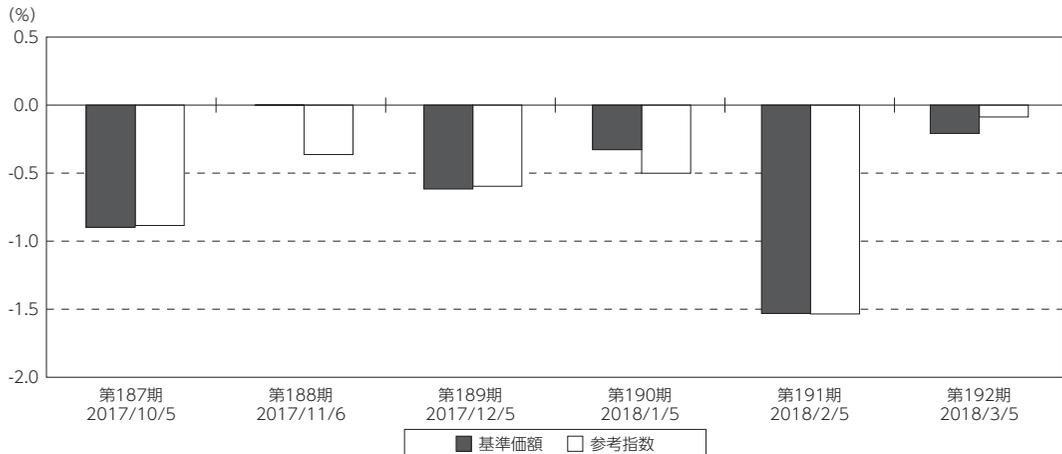
(2017年9月6日～2018年3月5日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）の-3.9%に対し、基準価額<sup>\*</sup>は-3.5%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド]でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。

## 分配金

(2017年9月6日～2018年3月5日)

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.112%	0.112%	0.113%	0.113%	0.115%	0.116%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	3,586	3,594	3,599	3,604	3,610	3,616

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

### [アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である [アセットバック証券オープンマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

## お知らせ

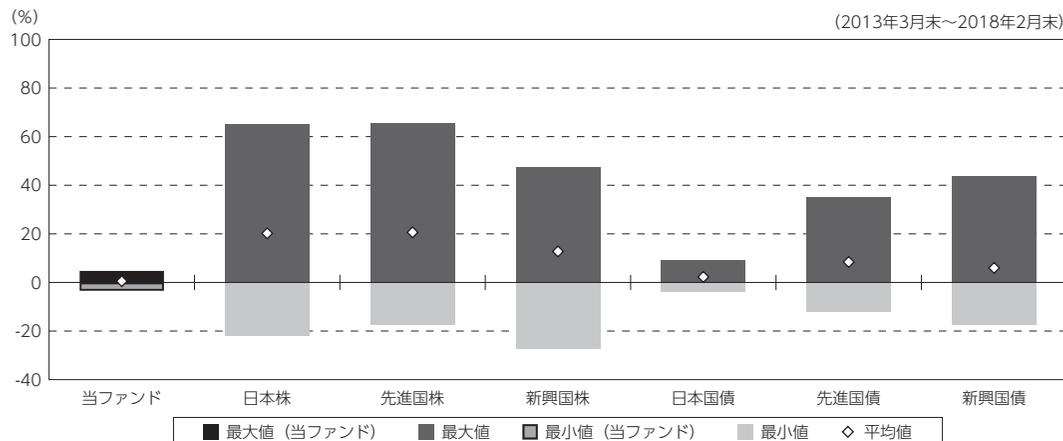
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2002年3月1日以降、無期限とします。	
運用方針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS (Mortgage Backed Securities)、CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS (Asset Backed Securities)）への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として米国ドルを用いて為替ヘッジを行います。	
主要投資対象	アセットバック証券オープンCコース	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アセットバック証券オープンマザーファンド	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。 なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
運用方法	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	4.7	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 3.4	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.5	20.2	20.6	12.8	2.3	8.4	6.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年3月から2018年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

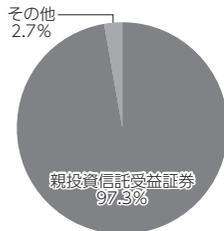
### 組入資産の内容

(2018年3月5日現在)

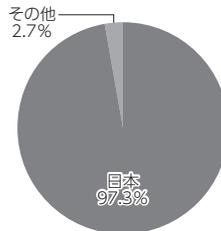
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第192期末
アセットバック証券オープンマザーファンド	97.3%
組入銘柄数	1銘柄

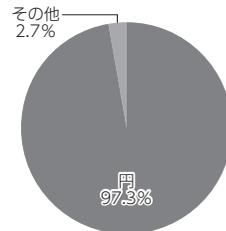
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末	第192期末
	2017年10月5日	2017年11月6日	2017年12月5日	2018年1月5日	2018年2月5日	2018年3月5日
純資産総額	495,551,364円	494,180,697円	488,831,454円	486,260,774円	478,118,440円	452,266,339円
受益権総口数	554,607,285口	553,719,193口	551,749,193口	551,262,563口	551,085,111口	522,945,111口
1万口当たり基準価額	8,935円	8,925円	8,860円	8,821円	8,676円	8,648円

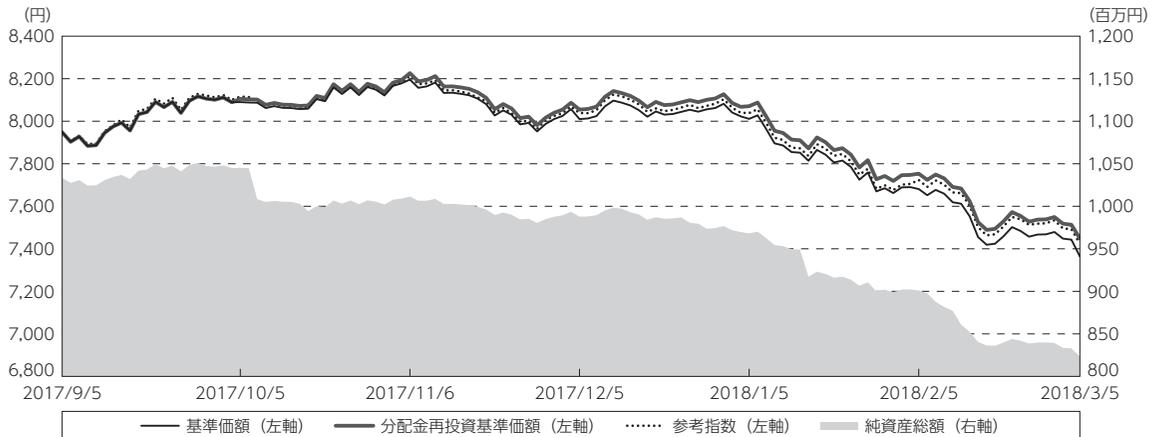
(注) 当作成期間中(第187期~第192期)における追加設定元本額は617,171円、同解約元本額は41,200,000円です。

<Dコース>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年9月6日～2018年3月5日)



第187期首：7,948円

第192期末：7,364円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：△6.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2017年9月5日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。詳細は11ページをご参照ください。参考指数は、作成期首(2017年9月5日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の7,948円から当作成期末には7,364円となりました。

- ・2018年1月に、2017年12月のコアCPI(消費者物価指数)伸び率が市場予想を上回るなど好調な経済指標が確認されたことや、税制改革によるインフレ期待から長期金利が上昇したことなどを背景にアセットバック証券が下落したこと
- ・2018年2月に、1月の米雇用統計が好調であったことを受け、FRB(米連邦準備制度理事会)による利上げが加速するとの観測が高まったことや、1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨が利上げを強調する内容だったことから債券利回りは上昇(価格は下落)し、アセットバック証券が下落したこと
- ・ドル/円の為替変動

1万口当たりの費用明細

(2017年9月6日～2018年3月5日)

項 目	第187期～第192期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 43	% 0.546	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(24)	(0.305)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(17)	(0.214)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	( 2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	2	0.028	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	45	0.574	
作成期間の平均基準価額は、7,903円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

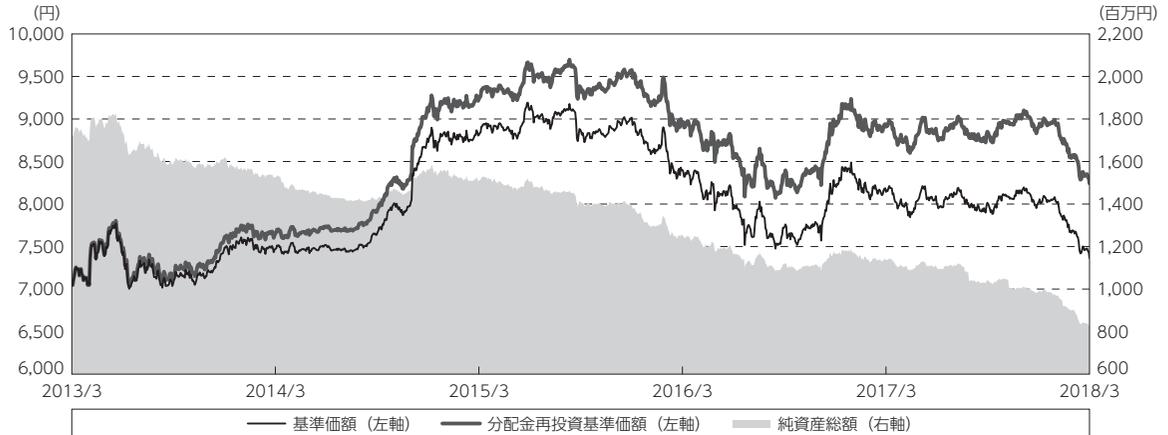
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年3月5日～2018年3月5日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2013年3月5日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2013年3月5日 決算日	2014年3月5日 決算日	2015年3月5日 決算日	2016年3月7日 決算日	2017年3月6日 決算日	2018年3月5日 決算日
基準価額 (円)	7,061	7,473	8,811	8,378	8,142	7,364
期間分配金合計(税込み) (円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.5	20.6	△ 3.0	△ 0.6	△ 7.5
参考指数騰落率 (%)	—	8.3	19.5	△ 2.3	△ 1.5	△ 7.9
純資産総額 (百万円)	1,720	1,527	1,508	1,249	1,135	823

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\*参考指数 (= ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス<sup>®</sup>(円換算ベース))は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(現地通貨ベース)をもとに、当社において円換算したものです。  
 ※名称変更しております(旧名称はBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス)。  
 (出所および許可) ICE Data Indices, LLC、(出所) ブルームバーグ

**投資環境**

(2017年9月6日～2018年3月5日)

米国債券市場は、当作成期間では、利回りは上昇（価格は下落）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、トランプ政権による税制改革の動向などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、下落傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向などに左右されました。

為替市場は、当作成期間では、ドルに対して円高が進行しました。2017年9月にFOMCでの資産縮小開始の決定や、トランプ政権が税制改革案を発表し、米国経済の成長に対する期待感が高まったことを受けて、ドルは上昇しましたが、2018年1月以降、日銀が超長期国債の買い入れを減額したことを受けて、市場で金融政策の正常化が意識されたことや、2月の下旬、米国株式市場が急落したことなどからリスク回避の動きにより円が買われ、円高が進みました。当作成期間では、ドル安・円高となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2017年9月6日～2018年3月5日)

**[アセットバック証券オープンDコース]**

主要投資対象である [アセットバック証券オープンマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行いませんでした。

**[アセットバック証券オープンマザーファンド]**

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。  
上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。
  - ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
  - ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
  - ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

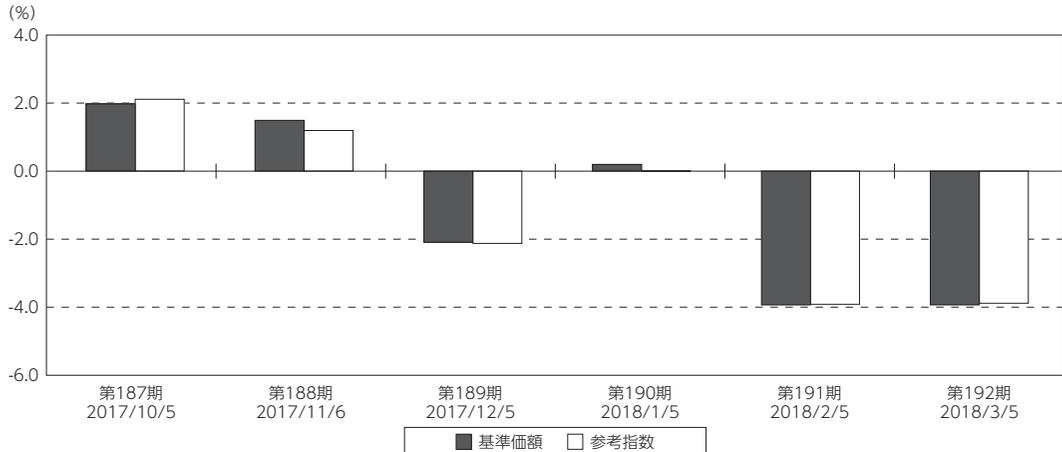
(2017年9月6日～2018年3月5日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）の-6.6%に対し、基準価額\*は-6.3%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド] でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

\*基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ICE・BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

## 分配金

(2017年9月6日～2018年3月5日)

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期	第192期
	2017年9月6日～ 2017年10月5日	2017年10月6日～ 2017年11月6日	2017年11月7日～ 2017年12月5日	2017年12月6日～ 2018年1月5日	2018年1月6日～ 2018年2月5日	2018年2月6日～ 2018年3月5日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0.185%	0.183%	0.187%	0.187%	0.195%	0.203%
当期の収益	15	15	13	13	14	12
当期の収益以外	-	-	1	1	0	2
翌期繰越分配対象額	1,198	1,206	1,204	1,204	1,204	1,203

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### [アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

### [アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である [アセットバック証券オープンマザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## お知らせ

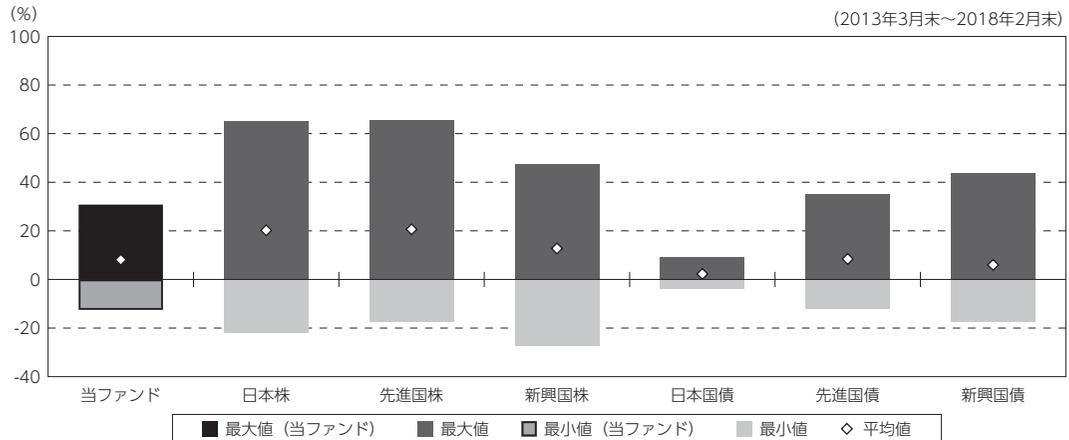
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2002年3月1日以降、無期限とします。	
運用方針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS (Mortgage Backed Securities)、CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS (Asset Backed Securities)）への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	アセットバック証券オープンDコース	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アセットバック証券オープンマザーファンド	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。 なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
運用方法	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	30.8	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 12.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	8.1	20.2	20.6	12.8	2.3	8.4	6.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年3月から2018年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

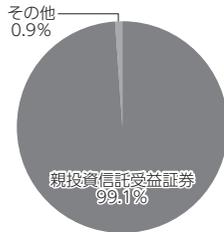
### 組入資産の内容

(2018年3月5日現在)

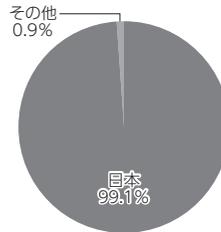
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第192期末
アセットバック証券オープンマザーファンド	99.1%
組入銘柄数	1銘柄

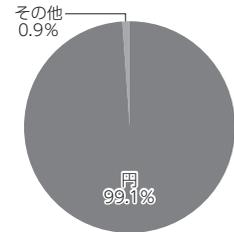
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第187期末	第188期末	第189期末	第190期末	第191期末	第192期末
	2017年10月5日	2017年11月6日	2017年12月5日	2018年1月5日	2018年2月5日	2018年3月5日
純資産総額	1,045,162,122円	1,011,383,009円	987,725,699円	968,133,047円	901,015,037円	823,386,268円
受益権総口数	1,291,859,119口	1,233,954,638口	1,233,077,967口	1,208,570,299口	1,173,029,967口	1,118,060,005口
1万口当たり基準価額	8,090円	8,196円	8,010円	8,011円	7,681円	7,364円

(注) 当作成期間中（第187期～第192期）における追加設定元本額は1,054,584円、同解約元本額は183,100,144円です。

## 組入上位ファンドの概要

### アセットバック証券オープンマザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万円当たりの費用明細】

(2016年4月26日～2017年4月24日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用	10	0.042
( 保管費用 )	( 9 )	( 0.041 )
( その他 )	( 0 )	( 0.001 )
合計	10	0.042

期中の平均基準価額は、22,852円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

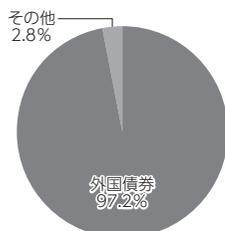
(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

#### 【組入上位10銘柄】

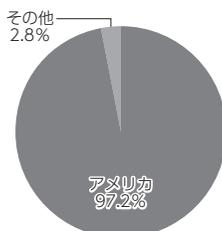
(2017年4月24日現在)

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1 FHMS K033 A2 3.06% 2023/7/25	特殊債	米ドル	アメリカ	30.2
2 FHLC MULTIFAMILY STRUCT 2.716% 2022/6/25	特殊債	米ドル	アメリカ	13.9
3 FHLC MULTIFAMILY STRUCT 3.002% 2024/1/25	特殊債	米ドル	アメリカ	10.4
4 FN AS1317 4% 2043/12/1	特殊債	米ドル	アメリカ	6.5
5 FHMS K503 A2 2.456% 2019/8/25	特殊債	米ドル	アメリカ	5.2
6 FHLC MULTIFAMILY STRUCT 3.13% 2021/6/25	特殊債	米ドル	アメリカ	5.0
7 US TREASURY N/B 2.25% 2027/2/15	国債	米ドル	アメリカ	3.6
8 COMM MORTGAGE TRUST 2.801% 2047/11/10	社債	米ドル	アメリカ	3.5
9 WORLD FINANCIAL NETWORK 2.55% 2024/6/17	社債	米ドル	アメリカ	3.5
10 WORLD FINANCIAL NETWORK 2.03% 2025/4/15	社債	米ドル	アメリカ	3.4
組入銘柄数	21銘柄			

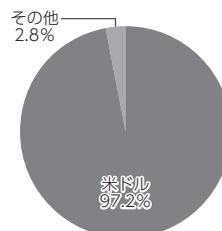
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### ○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)